

まちづくり交付金 事後評価方法書

別府駅周辺地区

平成 2 1 年 5 月

大分県別府市

## (1) 成果の評価

### 1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

#### 指標 1 : 別府駅周辺地区の観光客数

##### A : 事前評価時の『従前値』の求め方

①従前値の 基準時点	「平成 15 年観光動態要覧」結果調査時（平成 15 年 12 月 31 日時点）
②実施主体	別府市建設部都市政策課（まちづくり交付金事業主管課）
③計測手法	平成 16 年 8 月に公表された「平成 15 年観光動態要覧」における 1 年間の地域別観光客数（中央北浜海岸地区）の値（平成 15 年 1 月～12 月）を用いた。

##### B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方

④計測時期	平成 21 年 9 月				
⑤実施主体	別府市建設部都市政策課				
⑥データの 計測手法	平成 21 年 9 月公表の「平成 20 年観光動態要覧」を用い、平成 20 年の中央・北浜海岸地区の観光客数を把握する。なお、平成 17 年より公表の区域が統合されたことから担当課に対象地区における年間観光客数の抽出を依頼した。				
⑦評価値の 求め方	平成 15 年～平成 20 年の観光客数のデータから平成 21 年の観光客数を回帰分析によって推計し、評価値とする。				
⑧確定／見 込みの別	<table border="1"><tr><td></td><td>確定</td></tr><tr><td>●</td><td>見込み</td></tr></table>		確定	●	見込み
	確定				
●	見込み				

##### C : フォローアップ時の『確定値』の求め方

⑨フォローアップ の必要性	<table border="1"><tr><td>●</td><td>あり</td></tr><tr><td></td><td>なし</td></tr></table>	●	あり		なし
●	あり				
	なし				
⑩計測時期	平成 22 年 8 月				
⑪実施主体	別府市建設部都市政策課				
⑫計測手法	平成 22 年 8 月公表予定の「平成 21 年観光動態要覧」によって、平成 21 年の中央・北浜海岸地区の観光客数を確定値とする。				

<b>指標 2：</b>		<b>駅前広場内の迷惑駐輪台数</b>	
<b>A：事前評価時の『従前値』の求め方</b>			
①従前値の基準時点	「平成 16 年度交通バリアフリー基本構想策定委託業務」調査時（平成 16 年 10 月）		
②実施主体	別府市建設部都市政策課（まちづくり交付金事業主管課）		
③計測手法	平成 17 年 2 月に提出された「平成 16 年度交通バリアフリー基本構想策定委託業務報告書」における自転車駐車場利用状況調査の西口・東口駅前広場内の路上駐輪台数の値を用いた。同調査では、平成 16 年 10 月 28 日（木曜）の 5:30～24:30（鉄道運行時間内）における 1 時間毎の駐輪台数を調査しており、本指標は、西口・東口駅前広場内における 1 時間当たり路上駐輪台数の平均値を従前値としている。		
<b>B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>			
④計測時期	平成 21 年 7 月 14 日		
⑤実施主体	別府市建設部都市政策課		
⑥データの計測手法	従前値の計測時期が平成 16 年 10 月 28 日（木）であったことを踏まえ、通勤・通学及び周辺店舗営業状況等の条件が同じような平成 21 年 7 月 14 日（火）に実施した。従前値の計測方法と同じく、調査箇所は別府駅東西駅前広場内で行い、5：30～24：30 の 1 時間毎の駐輪台数を把握した。		
⑦評価値の求め方	計測を行った 5：30～24：30 の 1 時間毎の駅前広場内の駐輪台数の平均値を評価値とした。		
⑧確定／見込みの別	●	確定	
		見込み	
<b>C：フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>			
⑨フォローアップの必要性	●	あり	
		なし	
⑩計測時期	平成 22 年 7 月		
⑪実施主体	別府市建設部都市政策課		
⑫計測手法	事後評価時と通勤・通学及び周辺店舗営業状況等の条件が同じになるように平成 22 年 7 月に実施する。 従前値の計測方法と同じく、調査箇所は別府駅東西駅前広場内で行い、5：30～24：30 の 1 時間毎の駐輪台数を把握する。		

<b>指標 3 :</b>		<b>竹瓦温泉の年間利用者数</b>	
<b>A : 事前評価時の『従前値』の求め方</b>			
①従前値の基準時点	「平成 16 年観光動態要覧」結果調査時（平成 17 年 3 月 31 日時点）		
②実施主体	別府市建設部都市政策課（まちづくり交付金事業主管課）		
③計測手法	平成 17 年 9 月に公表された「平成 16 年観光動態要覧」における市営温泉施設年度別有料入浴者数（竹瓦温泉）の値（平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月）を用いた。		
<b>B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>			
④計測時期	平成 21 年 9 月		
⑤実施主体	別府市建設部都市政策課		
⑥データの計測手法	平成 21 年 9 月公表の「平成 20 年観光動態要覧」を用い、平成 20 年度の竹瓦温泉の年間利用者数を把握する。		
⑦評価値の求め方	平成 16 年度～平成 20 年度の利用者数のデータから平成 21 年度の利用者数を回帰分析によって推計し、評価値とする。		
⑧確定／見込みの別		確定	
	●	見込み	
<b>C : フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>			
⑨フォローアップの必要性	●	あり	
		なし	
⑩計測時期	平成 22 年 8 月		
⑪実施主体	別府市建設部都市政策課		
⑫計測手法	平成 22 年 8 月公表予定の「平成 21 年観光動態要覧」によって、平成 21 年の竹瓦温泉の年間有料利用者数の確定値とする。		

<b>(1) 成果の評価</b>		
<b>2) その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測</b>		
<b>数値指標：</b>	<b>J R 別府駅の乗降客数</b>	
<b>記述理由</b>	当地区の整備内容は、J R 別府駅の交通結節機能の向上に関連する事業が多いため、駅の利便性向上による鉄道利用者の増加を説明する。	
<b>A：事前評価時の『従前値』の求め方</b>		
①従前値の基準時点	「平成 16 年別府市統計書」結果調査時（平成 16 年 12 月 31 日時点）	
②実施主体	別府市建設部都市政策課（まちづくり交付金事業主管課）	
③計測手法	別府市統計書から平成 16 年の J R 別府駅の乗降客数を把握する。	
<b>B：事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>		
④計測時期	平成 21 年 8 月	
⑤実施主体	別府市建設部都市政策課（まちづくり交付金事業主管課）	
⑥データの計測手法	九州旅客鉄道への問合せにより、平成 20 年の年間利用者数を把握する。	
⑦評価値の求め方	平成 16 年から平成 20 年の乗降客数のデータから平成 21 年の年間利用者数を回帰分析によって推計し、評価値とする。	
⑧確定／見込みの別		確定
	●	見込み
<b>C：フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>		
⑨フォローアップの必要性	●	あり
		なし
⑩計測時期	平成 22 年 4 月	
⑪実施主体	別府市建設部都市政策課（まちづくり交付金事業主管課）	
⑫計測手法	九州旅客鉄道株式会社への問合せにより、平成 21 年の J R 別府駅の年間利用者数を把握する。	

<b>(1) 成果の評価</b>		
2) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標) による効果発現の計測		
<b>数値指標:</b>	<b>竹瓦温泉の年間利用者数 (無料利用者を含む全体利用者数)</b>	
<b>記述理由</b>	無料利用者も含めた竹瓦温泉の全体利用者数により、温泉利用者の増加を説明する。	
<b>A: 事前評価時の『従前値』の求め方</b>		
①従前値の基準時点	「平成 16 年観光動態要覧」結果調査時 (平成 17 年 3 月 31 日時点)	
②実施主体	別府市建設部都市政策課 (まちづくり交付金事業主管課)	
③計測手法	平成 17 年 9 月に公表された「平成 16 年観光動態要覧」における市営温泉施設年度別有料入浴者数 (竹瓦温泉) の値 (平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月) 及び温泉課に問合せのうえ把握した無料入浴者数をあわせて、従前値とした。	
<b>B: 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方</b>		
④計測時期	平成 21 年 8 月	
⑤実施主体	別府市建設部都市政策課 (まちづくり交付金事業主管課)	
⑥データの計測手法	平成 16 年度～平成 20 年度の無料利用者数を別府市温泉課に問合せし、無料利用者数を含めた全体利用者数を把握する。	
⑦評価値の求め方	平成 16 年度～平成 20 年度の利用者数のデータから平成 21 年度の利用者数を回帰分析によって推計し、評価値とする。	
⑧確定/見込みの別	<input type="checkbox"/>	確定
	<input checked="" type="checkbox"/>	見込み
<b>C: フォローアップ時の『確定値』の求め方</b>		
⑨フォローアップの必要性	<input checked="" type="checkbox"/>	あり
	<input type="checkbox"/>	なし
⑩計測時期	平成 22 年 8 月	
⑪実施主体	別府市建設部都市政策課 (まちづくり交付金事業主管課)	
⑫計測手法	温泉課に問合せにより、無料利用者を含めた平成 21 年の竹瓦温泉の年間利用者数を把握し、確定値とする。	

## (2) 実施過程の評価

### 1) モニタリングの実施状況の確認

#### A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア  都市再生整備計画に実施することを記載した  
イ  都市再生整備計画に記載しなかった  
ウ  都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

毎年公表される統計データを確認し、指標の値の推移を把握する。

#### C : 事後評価時の確認方法

①時 期

②確 認 先

③確認方法

### 2) 住民参加プロセスの実施状況の確認

#### A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア  都市再生整備計画に実施することを記載した  
イ  都市再生整備計画に記載しなかった  
ウ  都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

別府駅西口駅前広場整備、公衆便所整備に伴うワークショップ、北浜公園整備に伴う住民説明会、海門寺温泉建替に伴う説明会を行い、住民意見を計画に反映させた。

#### C : 事後評価時の確認方法

①対 象

②時 期

③確 認 先

④確認方法

### 3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認

#### A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア  都市再生整備計画に実施することを記載した  
イ  都市再生整備計画に記載しなかった  
ウ  都市再生整備計画に記載はないが実施した

#### B : 実施事項 (※Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

まちづくり交付金により音泉タウン実行委員会の設立支援を行った。

#### C : 事後評価時の確認方法

①対 象

②時 期

③確 認 先

④確認方法

**(3) 効果発現要因の整理**

①時 期	平成 21 年 10 月
②実施主体	都市政策課
③検討体制	関係各課（道路河川課、公園緑地課、温泉課、観光まちづくり課）へ意見照会を行い、意見の集約を行った。

**(4) 今後のまちづくり方策の作成**

①時 期	平成 21 年 10 月
②実施主体	都市政策課
③検討体制	関係各課（道路河川課、公園緑地課、温泉課、観光まちづくり課、商工課、政策推進課）へ意見照会を行い、意見の集約を行った。

**(5) 事後評価原案等の公表**

	原案の公表	評価結果(最終)の公表
①時 期	平成 21 年 11 月 2 日～16 日	平成 22 年 3 月
②実施主体	都市政策課	都市政策課
③公表方法	都市政策課窓口での閲覧及びホームページに掲載して公表する。また、市報にて原案公表の周知を行う。	都市政策課窓口での閲覧及び市報・ホームページに掲載して公表する予定。(1 年間)

**(6) まちづくり交付金評価委員会の審議**

①時 期	平成 21 年 9 月～11 月
②実施主体	都市政策課
③設置・運用方法	学識経験者及び市内各団体の有識者を中心とした評価委員会を設置し、要綱を制定して運用する。

**(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定**

①聴取方法	予定なし
-------	------

※(3)～(6)の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

**(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況**

①予算措置の状況	ア <input type="checkbox"/> 費用は発生しない イ <input checked="" type="checkbox"/> 費用は発生するが、予算措置を講じている ウ <input type="checkbox"/> 費用は発生するが、予算措置は講じていない エ <input type="checkbox"/> その他 ( )
----------	---



都道府県名	大分県
市町村名	別府市
地区名	別府駅周辺地区
計画期間	平成17年度～平成21年度
作成者	部署 都市政策課
	役職 主査
	氏名 白石 修三
連絡先	TEL 0977-21-1111
	FAX 0977-22-9478
	E-mail cip-co@city.beppu.oita.jp